

# すべての赤ちゃんが 幸せに育つために



日時

平成  
27年

**2月28日(土)** 13:00~16:30

会場

**聖徳大学10号館 14階**

千葉県松戸市松戸1169 JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

主催

**聖徳大学児童学研究所**

後援

松戸市教育委員会、市川市教育委員会、  
柏市教育委員会、取手市教育委員会

定員

**80名**

(事前申込不要)

**参加費  
無料**

## 講演

**新生児医療から学んだ、  
子どもにあたたかい  
心を育むことの大切さ**

**仁志田 博司**

(東京女子医科大学名誉教授・前東京女子  
医科大学母子総合医療センター長)

**どのようにして障害の  
ある子どもたちを  
地域で育てて行くのか**

**小口 弘毅**

(おぐちこどもクリニック院長・前北里大学  
医学部小児科講師)

**生みの親から育ての  
親へ橋渡し～児童相談所・  
新生児里親委託の取り組み～**

**萬屋 育子**

(愛知教育大学教職大学院特任教授・  
元愛知県児童相談所長・児童福祉司)

## 内容

子どもの発達シンポジウムは、乳児期、幼児期、学童期、思春期の話題を毎年順に取り上げ、今年度は乳児期をテーマに開催いたします。この世に生を授かって生まれてきた赤ちゃんが、家族の祝福を受けて、健やかに育つことが自然な姿です。社会環境の変化で、それが出来ない現実、すなわち虐待などが、毎日のように報道されています。今回、3人の専門家にご講演をいただきます。仁志田先生にはこどもの正常な発達について、小口先生には生まれつきの異常や、高度の周産期医療により、生命は守られたが、障害を残してしまった子どもの育児について、最後に、萬屋先生に望まれないで生まれてきた子どもの最良な育児は何かを、特別養子縁組制度愛知方式を中心に、お話をさせていただきます。すべての赤ちゃんが、幸せに育つために、今、私たちに求められていることは何かを考えたいと思います。

お問い合わせ▶▶▶

**聖徳大学児童学研究所(知財戦略課)**

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話：047-365-1111 (大代表)

<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/>

